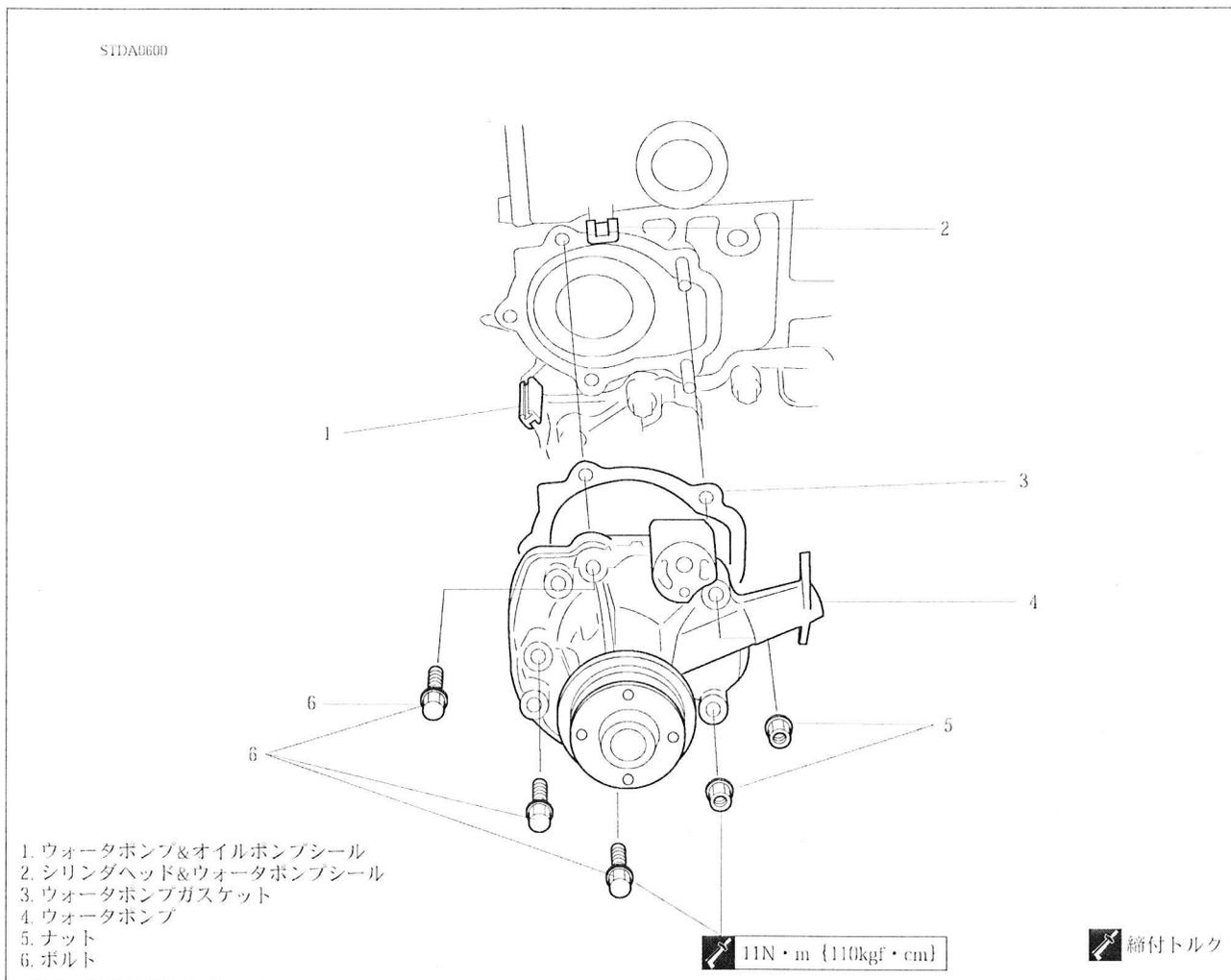
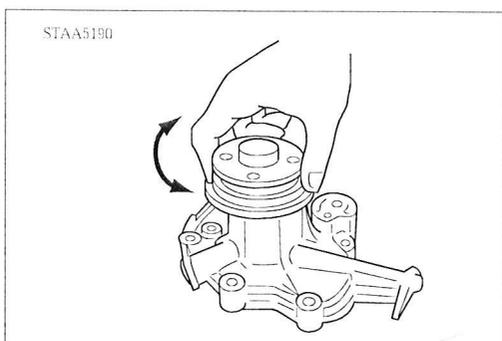


ウォーターポンプ
脱着構成図



取外し／取付け上の注意

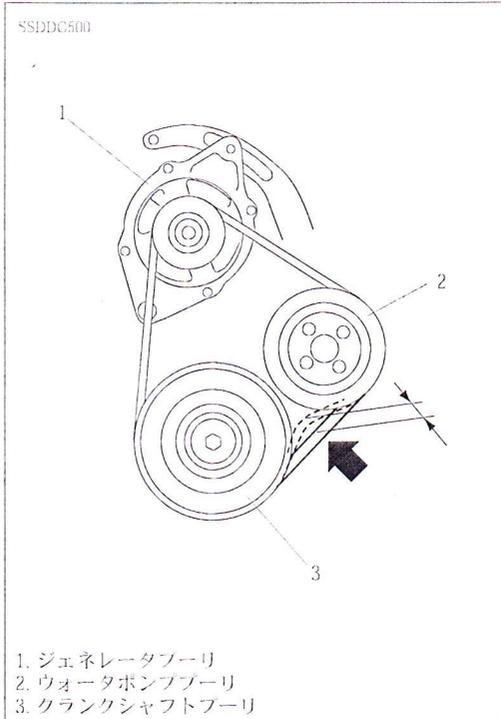
- ・冷却配管の切り離しがあるため、取外し／取付け時には、前記の「冷却水の抜き取り」、「冷却水の注入、エア抜き」の作業を行う。
- ・ウォーターポンプの取外し／取付け時には、タイミングベルト、カムタイミングスプロケット、タイミングベルトインサイドカバーの脱着が伴うため、セクション1Aを参照する。
- ・ウォーターポンプ&オイルポンプシール、シリンダヘッド&ウォータポンプシールの脱落に注意すること。



点検

- ・ウォーターポンプを手で回したとき、スムーズに回り異音がないか点検し、不具合がある場合には新品と交換する。

注意：ウォーターポンプは非分解式のため、不具合がある場合はアッシで交換する。



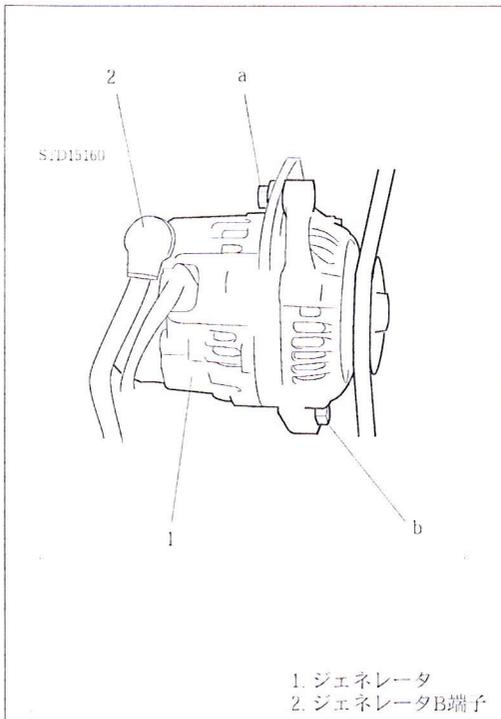
ジェネレータベルト 点検

- ・ベルトがプーリ溝に正しくはまっていることを確認する。
- ・ベルトとプーリ接触面の摩耗、損傷、破損またはプーリの段つきがないか、目視点検する。
- ・プーリ間中央のベルト背面に98N {10kgf} の力を加えて、たわみ量を測定する。

ベルトのたわみ量 (mm) 新品時 : 5~6
再張時 : 6~7

- ・ベルトのたわみ量が基準値から外れている場合は、ジェネレータボルトをゆるめて調整する。

締付トルク a : 23N · m {230kgf · cm}
b : 50N · m {510kgf · cm}



ジェネレータ 取外し/取付け

1. バッテリから⊖ケーブルを外す。
2. ジェネレータから配線を外す。
3. 取付ボルトを外し、ベルトおよびジェネレータを取り外す。
4. 取付けは取外しと逆の手順で行い、ベルトのたわみ調整を行った後に調整ボルトを規定値で締付ける。

たわみ量 (mm) 新品時 : 5~6
再張時 : 6~7

締付トルク a : 23N · m {230kgf · cm}
b : 50N · m {510kgf · cm}
B端子 : 5.2N · m { 53kgf · cm}